

<週報No.2, 872> 2, 983 回例会

2019年3月1日(金)

■会長/古屋 了 ■幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 S A A

◆ゲストビジター=諏訪市長金子ゆかり様

◆出席報告

本 日	7 5 . 5 6 %	1 2 名 欠 席
前 回 訂 正	9 1 . 3 0 %	4 名 欠 席

◆ラッキーナンバー=No.16 小口武男君

◆ニコニコボックス=●金子市長様=お招き頂きありがとうございます。●古屋了君、加藤明博君=本日は、金子市長の卓話です。金子市長よろしくお願ひします。●小口武男君=金子市長、ようこそおいで頂きました。本日はよろしくお願ひします。●岩波寿亮君=金子市長、今日はようこそ。よろしくお願ひします。●早出由男君=今月は誕生月と結婚月です。私は81才になってしまいましたが、これからも健康で楽しい人生を過ごしたいと思ひます。●北川和彦君=金子市長様、子ども家庭総合支援拠点の設置ありがとうございます。●石田孝一君=金子市長、ようこそいらっしやいました。●太田信男君、小林恭一君、山崎晃君、森幸俊君=金子市長をお迎えして。●藤森郁男君、河西正一君、折井俊美君=金子市長、ようこそおいで下さいました。●玉本広人君、山田文雄君、八幡一成君=金子市長ようこそ、本日はよろしくお願ひします。●増澤洋太郎君、山本實君=金子諏訪市長ようこそお越し下さいました。●小口武男君=ラッキーナンバーに当って。

◆会長告知・古屋了会長=桃の節句、金子市長をお迎へしての雛祭り。とはいえ八ヶ岳も富士山もその頂上は常に烈風が吹き荒れております。皆様お疲れ様でございます。

さて、藤原正男さんのお話3回目です。24歳で敗戦を迎えた藤原正男さんが復員されたのは終戦の一年後でした。戦時中、布半さんはお隣の鷺の湯さんと渡り廊下でつながり、傷病兵のための日赤病院として共に接収されていましたが営業を再開。藤原さんは父上逝去の翌月、26歳で久子夫人と結婚されました。久子夫人はコスモス工業の創業者増澤清富氏の姉上が嫁いだ茅野市出身の元海軍中将宮下頼永氏の次女で、増澤洋太郎会員とは従姉弟に

あたります。

その後、布半別荘を国から買い戻した藤原さんは30代、竹屋の藤森伝一さんを初代会長に戴いてロータリークラブの創設に走ります。そして生まれた諏訪クラブの草創期、「諏訪の大將こんばか先生」といわれた寺島清七先生のリーダーシップを手足となって支えたのは、亀源の松井澄(すみ)寿(ひさ)さんと布半の藤原さんのお二人。明治生まれの寺島先生の“剛”と、大正生まれの松井さんの“静”。そして藤原さんの“柔”。時代背景と人のご縁の妙が諏訪クラブを生みました。ロータリーの創設や諏訪湖カントリークラブの建設の取り組み等、汗を流して無から有を生み出して行かれたお二人は、共に大正9年生まれでひとつ違いの同窓生。お宅も近所ですから、幼少期から何らかの交流を持ちながら旧制諏訪中学までを過ごされたものと推察いたします。共に進んだ慶応大学では、福沢諭吉の愛弟子で天皇の教育責任者だった小泉信三塾長の薫陶を受け、ロータリーでも初代幹事は松井さんが2年、そのあとを藤原さんが3年、慶応ボーイが草創期の基盤を築きます。

亀源さんは明治から大正にかけ、飯田家、武川家とともに私財を投じて、今の清陵・二葉・諏訪実の原型を創られた上諏訪三商人のひとつ。創業家の土橋源蔵一家が東京へ移住した後、亀源の営業を託されたのが源蔵の甥松井英二郎氏で、醸造の近代化に尽くされました。

松井家は高島藩のご家老留守居役を務めた片羽町の士族です。澄寿さんは英二郎氏の長男で、従軍時代は通信隊将校としてベトナムハノイで終戦を迎えました。従軍に辛い体験はなく、一度も部下を叱らなかつたことが誇りだと、後にご家族に述懐されていたそうです。機械がお好きで、復員後は石川島播磨に勤務しているところを父上に連れ戻されて、片倉七家の一つ林家から嫁いだ美根子夫人と亀源醸造を担い、諏訪や県の味噌組合を統括されました。特に、諏訪湖の汚染が時事のテーマとされる中にあって、諏訪の味噌組合は業界をリードする形で環境問題への時代の要請を先取りしましたが、諏訪クラブが環境問題にいち早く取り組んだその背景には、竹屋さん亀源さんというロータリーのリーダー達の進取性と、諏訪湖をご自身の原風景とされた藤原さんとの思いの交流があったのではないのでしょうか。

◆幹事報告・加藤明博幹事=①本日は金子市長の卓話です。宜しくお願ひ致します。②アクサ生命の佐藤さんです

が、現在入会手続きを進めています。③2月28日布半で行われた会員セミナーでは、25名の方が参加され大変有意義なセミナーとなりました。④来週はアクト合同夜間例会となります。皆さんに案内状をFAX致しますので、又多くの方のご参加を宜しく申し上げます。⑤ポリオ撲滅チャリティー募金ですが、当初予算を30,000円をお願いしていましたが合計で37,400円となりました。有難う御座いました。⑥9日はIMです。私が受付で名札を用意しますので当日は宜しく申し上げます。⑦最後に例会後、月初の理事会を行いますので、理事の方はお集まりください。

**◆委員会報告・ロータリー情報委員会 三井章義委員長**

＝昨日、会員セミナーを開催いたしました。総勢25名の方に参加いただきました。いつになく、大変内容が充実

してとても良いセミナーでした。また、立派なテキストを八幡一成会員に作成して頂きましたので、参加できなかった方にも配布



いたします。ぜひ、読んで頂きたいと思っております。

**◆クラブフォーラム 年頭所感 諏訪市長金子ゆかり様**

＝今日は3月の例会にお招きを頂きありがとうございます。

また、この4年間皆様に支えていただきご指導いただいたこと本当に心から感謝申し上げます。4月の改選期で再度挑戦



ということも表明をさせていただいております。この先も皆様にはご指導、ご厄介をかけると思っておりますが引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、2月21日に駅東口に開業した商業ビル「アーク諏訪」の駐車場について、無料駐車時間が1時間にとどまることに関して、市民から3時間無料にしてほしいとの声が届いております。この1時間無料分は市の負担で事業主体の民間会社に年2100万円を支払う予定となっており、民間会社の収入の骨格となるのが駐車場収入です。市民の皆さんにご理解を頂きたいと思っております。

JR東日本が16日に実施するダイヤ改正に伴い上諏訪駅で特急あずさが上下計2本通過することについて、ダイヤ改正の内容を同社側の連絡で知ったのは正式発表の3日前で事前の地域との情報交換はありませんでした。これには強い不快感を持ちました。近い将来JR側と（沿線自治体などが）一緒に話すテーブルがあるとの話もあります。中央東線は地域に欠かせない鉄路。コミュニケーションを大事にしたいと考えております。

加藤幹事からの要望で、観光について少し触れます。市では観光政策の係長のポストを増やしました。また、観光協会にも事務局長を専任で入れました。今後、駅のびゅうプラザ跡に観光協会と観光案内所を移転する予定です。

花火や御柱祭では集客できますが、日常の集客は諏訪市の小さなエリアでは無理があります。六市町村が一つになって観光地域ブランド「諏訪の国」を売り込んで多くの皆さんに知っていただくことが大切です。

諏訪市は平成31年度（2019年度）の当初予算案をチャッチフレーズ～未来への扉を開く～前進全励予算として213億8千万円を計上しました。これは過去最高の規模であり当初予算が200億円を超えるのは初めてのことです。主な事業は、駅前公共スペース整備・管理運営事業費約14億6000万円増、柳並線道路整備事業費約6億600万円増となります。

全身全霊は1期目の当選直後の某テレビ局の突然のインタビューで思わず「全身全霊で頑張ります」と口にしてしまったことで議会の先輩から木の厚い板に全身全霊と書かれたものをプレゼントして頂きましたのでこれは肝に銘じておかないといけないと思い市長室の入口に置いてあります。

今回は「全身全霊」の字を変えて、芽吹いてきた事業が新たな時代に花開くように、市民と行政が一丸となって励みさらに前に進んで行くという意味を込めて「前進全励」と致しました。

**◆今後の例会日程**

3月8日	金	アクト合同夜間例会（青少年奉仕委員会）
3月15日	金	クラブフォーラム（プログラム委員会）
3月22日	金	準法定休日
3月29日	金	クラブフォーラム（プログラム委員会）

執筆担当 小口泰幸